

これからは
高断熱窓の時代！

健康で快適な住宅の
ポイントは…

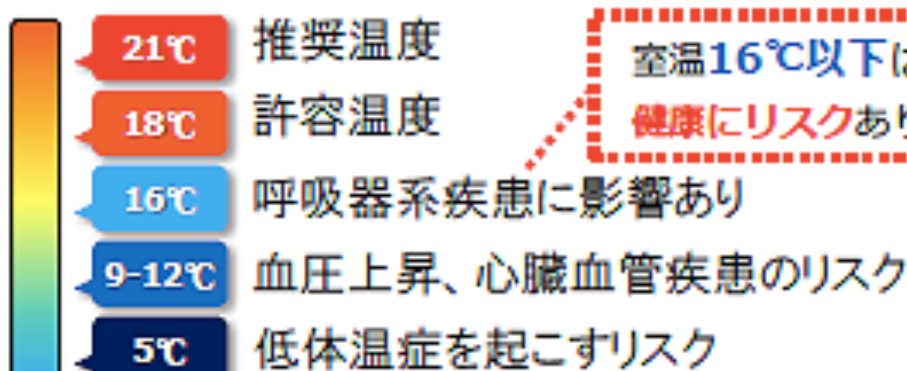
窓



病気の原因は住まいに？！

寒い家は健康に悪い！

■低い室温がもたらす健康障害（イギリス保健省の指針より）

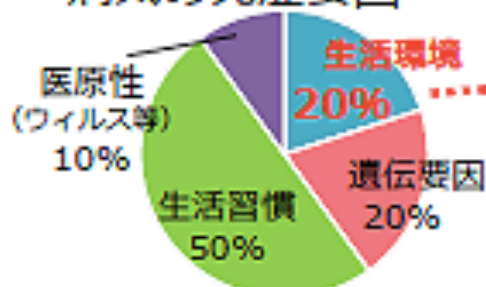


室温16℃以下は、
健康にリスクあり！



病気の原因は住まいの環境にあるかも？

■病気の発症要因



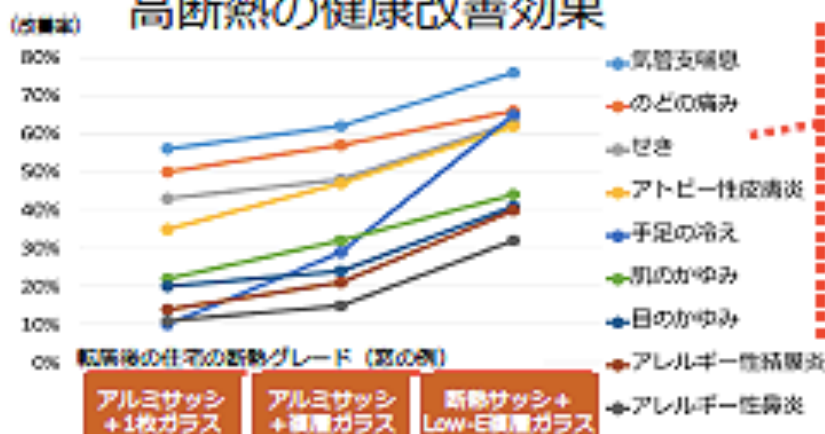
病気の発症要因のうち、
生活環境が20%も健康に影響を
及ぼしています。



(医療ジャーナリスト 田辺 功 朝日新聞 2002,8,10)

暖かい家は健康に良い！

高断熱の健康改善効果



断熱性の高い住宅に住むほど、
様々な病気の症状の
改善率が高くなること
がわかっています。

(近畿大学 建築学部 岩前研究室)

断熱でヒートショックと熱中症予防も！

ヒートショックは温度の急激な変化による血圧の変動などが原因となって発生する健康被害



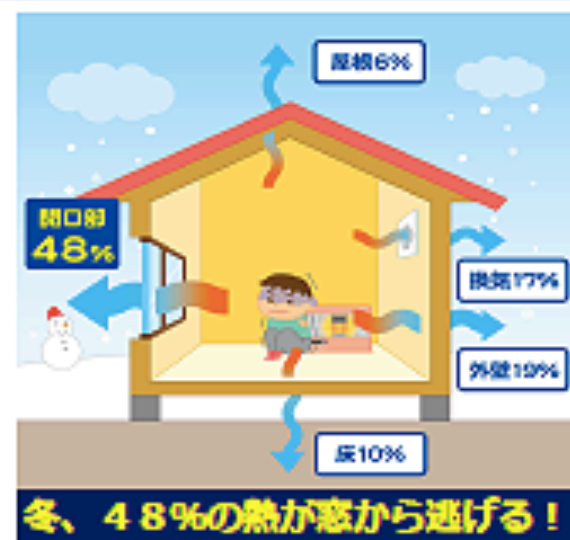
ヒートショックによる
年間死者数
全国 17,000人

断熱性能を高め、
住宅全体の温度差をなくす
ことがヒートショックを
防ぐ方法です！

【ヒートショック死亡者数】東京都健康寿命医療センター発表 2011年の1年間の入用中の死者数

ポイントは窓の断热

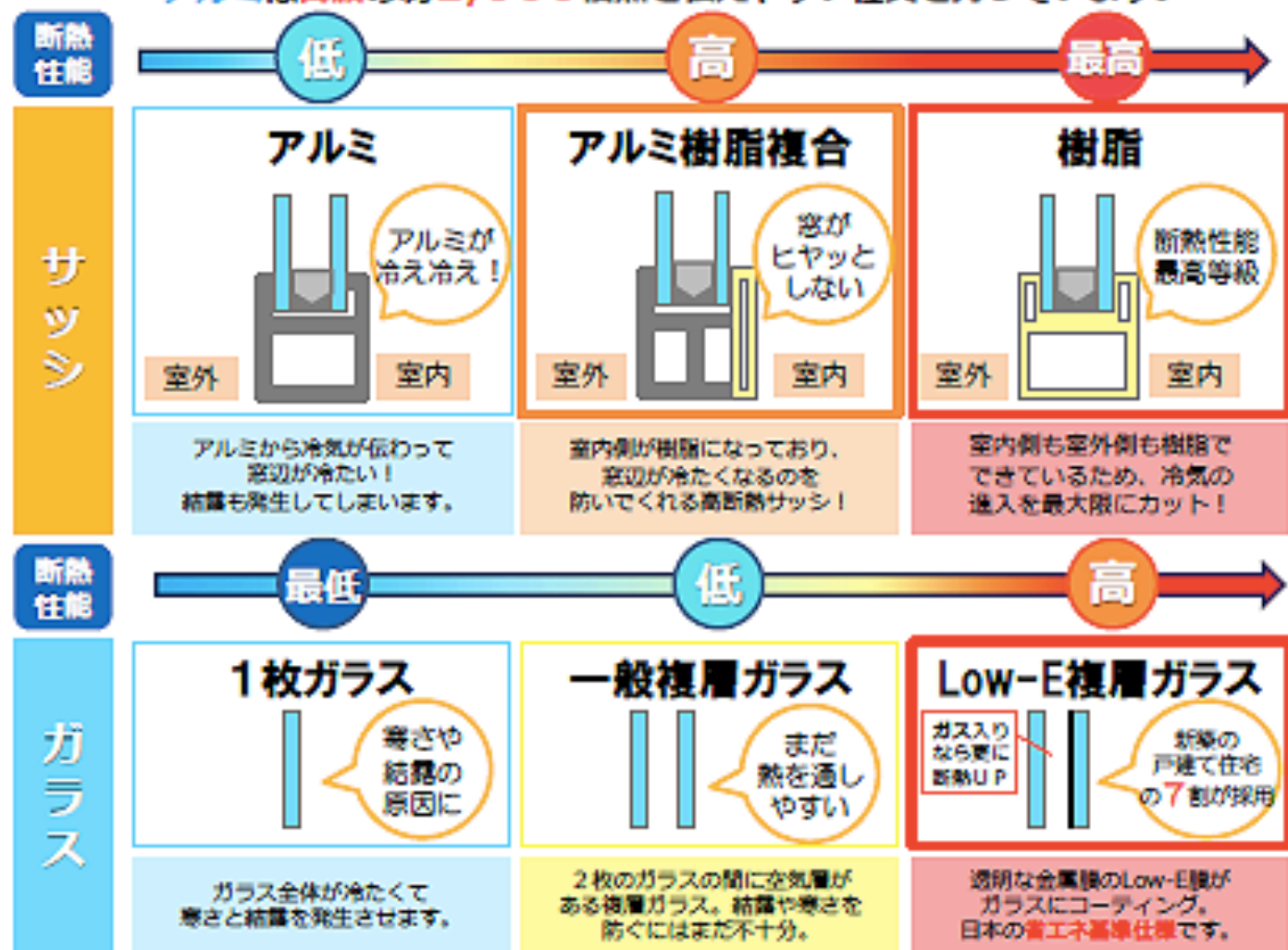
家の中でもっとも熱の出入りが多いのは窓



窓の断热性能を高めることが最重要！
窓の断热性能が低いと、家全体の断热性能が大幅に落ちてしまいます。

断热性能が高い窓とは…？

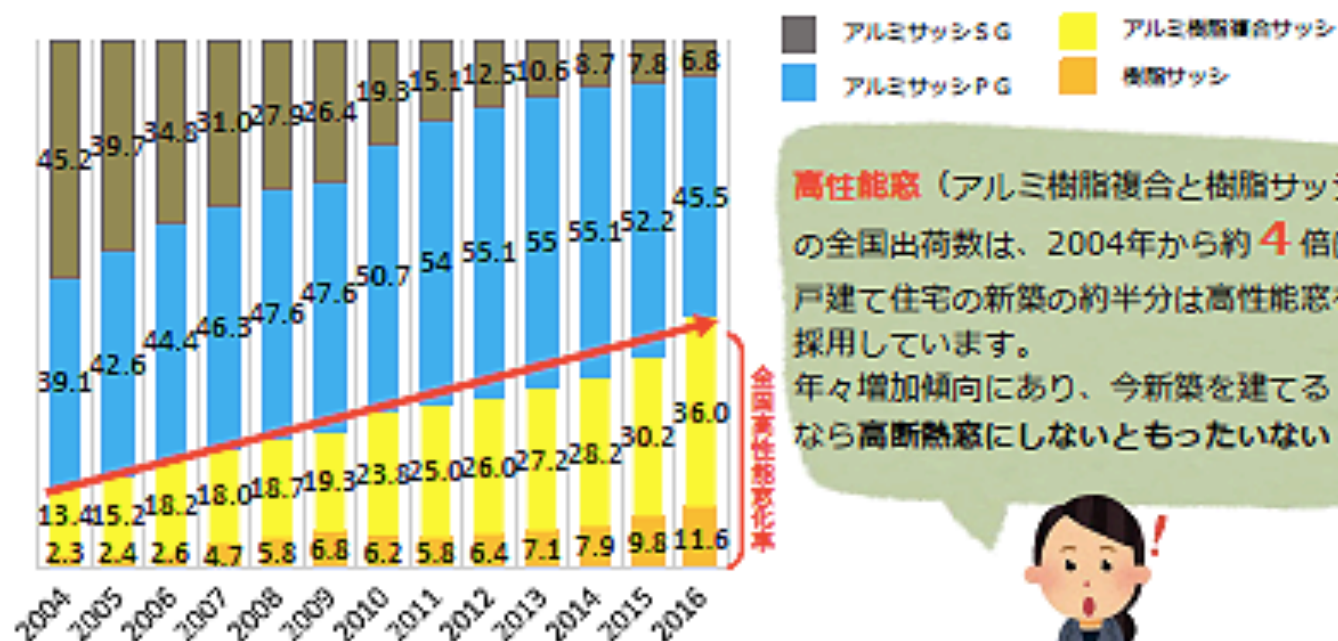
アルミは樹脂の約1,000倍熱を伝えやすい性質を持っています。



時代は高断熱窓まっしぐら！

断熱化が遅れている日本ですが、健康や省エネ面から窓の断熱かの動きが加速しています。

■全国 高性能窓化率推移【戸建住宅】



高性能窓（アルミ樹脂複合と樹脂サッシ）の全国出荷数は、2004年から約**4倍**に！戸建て住宅の新築の約半分は高性能窓を採用しています。年々増加傾向にあり、今新築を建てるなら高断熱窓にしないともったいない！



高性能窓紹介 **おすすめ!**

LIXIL アルミ樹脂複合サッシ



SAMOS L

熱貫流率

2.33 W(m²・K)

(Low-Eペアガラス)

樹脂サッシ



ERSTER S

熱貫流率

1.30 W(m²・K)

(Low-Eペアガラスでアルゴンガス封入)

熱貫流率とは??

熱貫流率とは熱の伝えやすさを表した数値で、小さいほど熱を伝えにくい高性能窓になります。アルミサッシにLow-Eペアガラスの場合の熱貫流率は3.49W(m²・K)で、比較するとアルミ樹脂と樹脂サッシの断熱性能の高いことがわかります！

お問い合わせは
こちらまで

株式会社 **平原工務店**

千葉県松戸市南花島3丁目43-21

あたたかい家づくりを
お手伝いいたします

☎ 047-368-6163